

# ピネル製品のお取扱いについて

## 【耐用年数について】

### ● ベルト、キャリングバッグは約5年

5年を経過していなくても、生地が収縮したり厚みがなくなる、芯地が露出している、端のほつれが酷いなどの状態はベルト本来の強度を保てなくなっている可能性があります。

### ● ボタンは使用開始時期より約2年

(製造時期ではなく、使用開始時期がめやすになります)。耐用年数を過ぎたボタンは、ボタン内部部品が劣化することで解除が困難になったり、逆に不用意に外れてしまう恐れがあります。また、耐用年数を過ぎる前でもボタン穴内部に汚物が付着した場合など、正常使用に支障をきたす恐れがある場合は、速やかにご使用を中止して下さい。

#### ※「製造時期」について

ボタン裏面に2つの丸印で刻印されています。右側の丸印は製造年の四半期でいつ製造されたかを示すQナンバー(Q1:1月から3月、Q2:4月から6月、Q3:7月から9月、Q4:10月から12月)、左側の丸印は製造年の下二桁を示しております。(例:18なら2018年)。刻印のないものは使用期限を超えておりますので、速やかに新品と交換して下さい。



(例) ②② → 2022年

① → 1月から3月

### ● 2019年10月～現在取扱いのステンレス製ピンは、永久使用可能 2019年9月以前に取扱いのピンは、約5年

※2015年4月以前販売品は、底と軸をネジと強力接着剤にて接着する構造となっております(軸の底近くに継ぎ目があります)。製造元の強度テストおよび製品テスト上は、底と軸を人力で分離させることは不可能ですが、5年以上の長期ご使用や塩素系洗剤による洗浄などにより、人力で軸のネジ部分が緩む場合があります。



<ステンレス製ピン>  
光沢のない金属色で、軸部分の継ぎ目はありません。



<真鍮製ピン>  
光沢のある金属色で、軸部分の継ぎ目はありません。



<分離構造型ピン>  
軸の下部に継ぎ目があります。

- マグネットキーには特に耐用年数設定はありませんが、保護カバーや保護ツメが破損した場合などはご使用を中止して下さい。

※保護ツメは柔らかい素材でできており、人力で曲げることができます。これは、ツメが折れて断面や破片で怪我をすることを防止するためのものです。内側に曲がってしまった場合は、人力で外側へ戻すことができます。



- 上記以外にも不具合が発生した場合は、すみやかにご使用を中止して頂き、必要に応じて新品への交換購入をお願い申し上げます。

## 【使用上のご注意】

- ベルト類は4層まで重ね付けが可能です。5層以上を重ねて留め付けるとロックシステムの不具合を起こす可能性があります。

- 「ピネル製緩和抑制帯 取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

- 抑制帯生地は大変柔らかい素材で作られておりますが、皮膚の状態によっては、摩擦により皮膚を傷める恐れがあります。装着により褥瘡などの皮膚トラブル等、身体に異常が認められた場合は、すみやかにご使用を中止してください。

## 【製品の取扱い表示の説明】



液温は95℃を限度、洗濯・脱水は普通



塩素系漂白禁止



アイロン禁止



ドライクリーニング全ての溶剤で可



欧州の燃焼試験基準に合格



オートクレーブ処理120℃まで可



## 【ベルトの洗濯方法】

● 通気性・抗菌性に優れた素材を用いて製造されておりますが、体液や汗・血液などが付着しますと、臭いや雑菌が繁殖する原因となりますので、定期的に洗濯して下さい。

● 洗濯する前に、全てのボタン、ピンを外して下さい。洗濯機をご使用になる際は、ベルト類を袋状のネットに入れますと、バックルなどの金属部分が洗濯槽を傷つける心配がありません。不要な靴下などを金属部分に被せておく方法もあります。

● 95度以下の水温にて洗濯して下さい。

● 一般的な市販の洗濯用洗剤をご使用いただけます（洗剤のご使用方法は各メーカーの使用方法をご確認下さい）。

● #4（手部/脚部用ベルト）を洗濯する場合は、付属の「洗濯カバー」を黒いマジックテープ面に貼り付けてから洗濯して下さい。糸くずの付着などを防ぎ、マジックテープ面の接着力低下やベルト生地 of 毛羽立ちを防ぐ効果があります（カバーは別売り可）。



## 【ベルトの乾燥方法】

● 通気性に優れているため、風通しのいい日陰に干しておけば、1時間弱ほどで乾きます。

● 乾燥機をご使用の場合は、80度以下の低温サイクルでの乾燥温度にてご使用下さい。お使いの乾燥機の取扱い方法に従い、適切にご使用ください。

**乾燥機に製品を詰め込みすぎたり、機内が高温になりますと、製品ラベルが熱により変質する恐れがございますので、ご注意ください。**

● 乾燥後も臭いが気になる場合は、必要に応じて市販の消臭スプレーなどを使用することも可能です。

● アイロンのご使用は生地を傷める原因となりますので、おやめください。

## 【製品全般の消毒方法】

● 消毒が必要な場合は、酸素系漂白剤またはアルコール製剤をご使用下さい。**塩素系漂白剤は生地や金属を傷める原因となりますので、ご遠慮下さい。**（洗剤のご使用方法は各メーカーの使用方法をご確認下さい）。

● 酸素系漂白剤を使用されますと鳩目のコーティング部分が剥がれて、アンティーク色から銀色に変色する場合がございますが、ご使用に問題はございません。

● 製品全般はオートクレーブ滅菌が可能です。抗菌性能を保ち、生地の縮みを避けるために、120℃以下で使用されることをお勧めします。

● #6A（ボタン）を消毒する場合は、アルコール製剤を含ませた布で拭き取り消毒を行ってください。または、ボタン穴を指で塞ぐなどして薬剤が入り込まないようにした状態で、アルコール製剤に1分ほど漬けてください。

● ボタンや分離構造型ピン、真鍮製ピン（2019年9月以前取扱い品）に塩素系薬剤を使用しますと、金属損傷や、ボタンの蓋部分に使用している接着剤剥がれが起こる可能性があります。ボタンやピンが正常に作動しなくなる恐れがありますので、ご注意下さい。

## 【保管と日常のお手入れの方法】

● 洗濯した製品は十分乾燥させたら、#10（キャリングバッグ）をお持ちであれば、バッグ内に保管することをおすすめします（ベルトごとに分類しやすいように、内部に仕切り板があります）。

● 直射日光が当たる場所や高温高湿の場所を避け、定期的に陰干しを行うなどして、製品の劣化を防ぐようお願いいたします。

● #4（手部/脚部用ベルト）には、マジックテープの接着力を保つため、付属の「洗濯カバー」を黒いマジックテープ面に貼り付けて保管して下さい。黒いマジックテープ面に髪の毛や糸くずなどが付着した場合は、つまようじ等を使って掻き出して除去してください（目めきなどの先の尖った道具でも代用できますが、取扱いには十分ご注意ください）。表面に浮いたほこりなどは、ガムテープなどに吸着させて除去することができます。

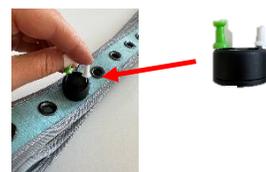
## 【ロックシステムの解除方法】※現行ボタンのみ

ロックしたボタンとピンが外れなくなった場合は、以下の順に解除を試してみてください。

①留め付けた場所のベルト類を指で挟んで、ベルトにかかる圧力を取り除いた状態で、ボタンにかぶせたマグネットキーを素早く上下させる。

②ボタンを水平に回してから①を同様に行う。

③ボタンの上部にある2つの小さな穴に画びょう等を同時に押し込んで内部のディスクを下げる（この場合ボタンを強制破損させるため、再使用は不可となります）。



※ご購入より6か月以内の初期不良については、新品にお取替えさせていただきますので、お手数をおかけしますが、弊社宛にご連絡ください。